

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	演技研究Ⅰ	
開設学科	声優・演劇科		コース名			開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	4単位		授業形態	講義			
教科書/教材	レジェメ・資料・テキストは必要に応じて配布。参考資料等は授業内で指示する。						
担当教員情報							
担当教員	尾花宏行・笹倉舞			実務経験の有無・職種	有・俳優　演出家		
学習目的							
俳優としてのスキル上昇の為に自分自身の興味に偏らず様々なジャンルを鑑賞・ディスカッションすることで、より自己の表現を豊かにする手法を探し出し、時代の移行による表現方法の変化や映像手法の違い等、演技を構成していくにあたって必要になる事柄の多角的かつ多層的な要素を理解し、今後の自己の演技に取り込んでいく事ができる声優・俳優になれる事を目的とする。							
到達目標							
表現の手法の嗜好が偏らないよう様々なジャンルの有用性を考慮したうえで、声優・俳優として与えられた配役の役柄としての理解を深め、その為にどのような役作りをしていくべきかを考える力を持てるようにする。時代と共に変化をしていく演技法を、自己の表現の為に、外観改造、内心や心情を思索する等、様々な要素を役作りに取り入れ、声優・俳優の仕事に対して本質的な向き合い方ができる役者になる事を目標にする。							
教育方法等							
授業概要	舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについて考察する。演技する者としての作品への関わり方を様々なジャンルの作品を通して、自分にトレースし、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、スキルアップの為にカリキュラム上組まれている科目についての理解度、芸能の世界においての必要性を理解することを目指す。						
注意点	授業において鑑賞した作品のレポートの提出は必須とする。作品内容（あらすじ）の理解よりも自分自身がどう思いどうしていくべきかを意見できる事を評価・重要視する。恒常的出席が単位授与の基本原則である。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備　考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	レポート	40%	作品内容の理解度・感想・意見等を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ミュージカル作品鑑賞			イントロダクションとしてミュージカルについて理解する。			
2回	ダンス作品鑑賞（1）			芸能のジャンルの一つとしてダンスを考察、それをモチーフにされている作品を鑑賞する。			
3回	ダンス作品鑑賞（2）			ダンスジャンルが違う作品を考察、それをモチーフにされている作品を理解する。			
4回	殺陣作品鑑賞　日本映画			芸能のジャンルの一つとして殺陣を考察、それをモチーフにされている作品を理解する。			
5回	実話をモチーフにした作品鑑賞（1）			日本映画の俳優の役作りについてを考察、実話に基づく作品描写を理解する。			
6回	実話をモチーフにした作品鑑賞（2）			海外作品の俳優の役作りについてを考察、実話に基づく作品描写を理解する。			
7回	アニメーション作品鑑賞（1）			アニメーション作品を考察、声優と俳優について理解する。			
8回	アニメーション作品鑑賞（2）			アニメーションの吹き替え作品を考察、声優と俳優について理解する。			
9回	舞台作品鑑賞（1）			テレビ時代をにらんだ新たな演芸ビジネスモデルの舞台公演を考察、普遍的な舞台作品を理解する。			
10回	舞台作品鑑賞（2）			ゲームから舞台化、ミュージカル化、アニメ化された人気作品を考察、それぞれの違いを比べ、舞台作品としての描写を理解する。			
11回	映画（邦画）鑑賞（1）			舞台から映画になった作品として考察、舞台作品と映画作品の相違点を理解する。			
12回	映画（邦画）鑑賞（2）			原作から複数の作品が作られている事を考察、リメイク作品により描写の違い等を理解する。			
13回	映画（洋画）鑑賞（1）			別ジャンルからの映画化について考察、海外作品としての違いを理解する。			
14回	映画（洋画）鑑賞（2）			洋画のリメイク作品を考察、日本と海外の作品の描写の違いを理解する。			
15回	まとめ			全体のまとめ			